

構造計画研究所

行動規範

2013年9月補訂

社会からの信頼に応え続けていくためには、私たちKKEの所員一人ひとりが、自律的に適切かつ公正に行動する必要があります。

本書は、「行動規範」を遵守する上での実行の手引きであり、所員がとるべき行動のあり方、共有すべき価値観や、判断基準を具体的に示したものです。

各自確認の上、日常活動の指針として活かしていきましょう。

INDEX

第1章 倫理的行動	P.3	第3章 社会との関係	P.13
1-1 品位をもった行動		3-1 内部統制システムの重要性	
1-2 組織ビジョンと自己実現		3-2 情報開示の重要性	
1-3 働きやすく、秩序ある職場風土づくり		3-3 お客様との関係	
1-4 利益相反行為の禁止		3-4 研究開発パートナーとの関係	
1-5 インサイダー取引の禁止		3-5 株主・投資家との関係	
1-6 会社財産の適正な維持/不適正な支出の禁止		3-6 地域社会との関係	
		3-7 反社会的勢力への対応	
		3-8 環境保全活動	
第2章 誠実で公正な事業活動	P.7		
2-1 法令、社内規程の遵守			
2-2 高い品質レベルの製品・サービスの提供			
2-3 リスクマネジメント体制の整備			
2-4 適切な情報提供・宣伝広告			
2-5 適正な契約の徹底			
2-6 機密保持の徹底			
2-7 知的財産の尊重			
2-8 情報管理の重要性			
2-9 公正かつ自由な取引			

2013年9月 補訂



第1章 倫理的行動

- 1-1 品位をもった行動 P.4
- 1-2 組織ビジョンと自己実現 P.4
- 1-3 働きやすく、秩序ある職場風土づくり P.5
- 1-4 利益相反行為の禁止 P.5
- 1-5 インサイダー取引の禁止 P.6
- 1-6 会社財産の適正な維持/不適正な支出の禁止... P.6

1

1-1

品位をもった行動

私たちは、自らが対外的にKKEを代表していることを十分認識し、自身を律して行動します。

- 1 法令や社内規程の遵守はもちろんのこと、いかなる時もKKEの所員としてのゆるぎなき品位を保ち、奢らず謙虚な態度で行動することを通して、社会との良好な関係の維持に努めます。
- 2 服装などについても、節度あるビジネスカジュアルを心掛け、社内外から好感を得られるように配慮します。

関連 社内規程 7. 就業規則

1-2

組織ビジョンと自己実現

私たちは、KKEに働く者として組織を活用した自己実現に努め、KKEの競争力を高めます。

- 1 組織自体を「自己の才能に合わせて自己実現する」、「経験知を活用し、組織知を共有する」、「構造計画研究所ブランドの確立で魅力的な仕事の実現できる」場であると位置づけ、組織を利用して自律的な能力開発に努めます。
- 2 自律したユニークなプロフェッショナル集団として、常に差別化した技術をもつとともに、KKE全体の創出価値の最大化と効率的な業務遂行に努めます。
- 3 チャレンジングな取り組み、顕著な貢献等に努めます。

関連 社内規程 7(3).1 服部正奨学基金表彰規則
社内規程 7(3).2 プロジェクト表彰規則

1-3

働きやすく、秩序ある職場風土づくり

私たちは、良識を備え自律した社会人として行動し、社会に高い付加価値を提供するための土壌となる、働きやすく秩序のある職場風土を築きます。

- 1 基本的な人権と多様な価値観、個性、プライバシーを尊重し、性別、年齢、国籍、人種、民族、信条、宗教、社会的身分、心身の障害などに関する差別的行動を認めません。
- 2 セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、いじめなど、人格を無視する一切の行為を行いません。
- 3 フィジカルヘルスのみならず、メンタルヘルスが良好に保たれるような職場づくりを心がけます。
- 4 適切なコミュニケーションをはかり、お互いの意見を尊重し合える関係を構築します。

関連

社内規程 7. 就業規則
社内規程 7(8) 安全衛生管理規程
社内規程 16.3 ハラスメント防止に関する規則
社内規程 17.2 内部通報者保護規則

1-4

利益相反行為の禁止

私たちは、個人の利益を求めて、KKEの利益と対立する、あるいは、対立するおそれがある行為は行いません。

- 1 KKEの製品・サービスと競合するものを製作・販売する会社に対し、KKEの会社情報^{*1}や会社財産^{*2}を提供するなどの行為は行いません。
- 2 KKEの会社情報や会社財産を利用して、KKEの利益と相反するビジネスを展開することはしません。
- 3 KKEの会社情報を無断で開示または漏えいすることはしません。また、会社情報、会社財産を社外に持ち出す際には、慎重に取り扱います。
- 4 第三者に対し守秘義務を負っている場合は、その情報をKKEに開示しません。

※1 会社情報:業務遂行過程において取り扱う情報(仕事を通じて得られたビジネスチャンス、人間関係、お客様に関する情報も含む)で、それが開示、漏えい、あるいは目的外に利用された場合、事業活動に不利益を与えるもの。

※2 会社財産:知的財産(アイデア、ノウハウなどを含む)、製品・サービス、ブランド、備品、消耗品、ソフトウェアなど。

関連

社内規程 8.3 文書規則
社内規程 17.1 インサイダー取引規制規則
社内規程 17.4 情報セキュリティ管理規則

1-5

インサイダー取引の禁止

私たちは、インサイダー取引*を行いません。

- 1 インサイダー取引は違法であり、証券市場の公正性と健全性を害し、KKEのステークホルダーの信頼を損なう行為であることを明確に理解します。
- 2 公の場ではもちろん、社内共用スペースにおいても株価に影響を与える重要事実を安易に話さないなど、他者(社)への開示、漏えいに十分留意します。
- 3 KKEの株式を売買しようとするときには、自社株売買禁止期間に留意し、社内向けホームページに掲載されている手続に則って、事前及び事後の報告を行います。

※ インサイダー取引:会社関係者(役員、従業員、アルバイト等)が、その特別な立場を利用して会社の業務等に関する重要事実(合併情報、画期的な新製品情報、大幅な業績予想の修正等)を知り、その重要事実が公表される前にその会社の株式等につき売買等の取引をすること。

関連 社内規程 17.1 インサイダー取引規制規則

1-6

会社財産の適正な維持/不適正な支出の禁止

私たちは、社会常識を逸脱したり、法令等に違反する不適正な支出、会社財産を毀損する行為を認めません。

- 1 政府機関(地方公共団体、特定法人や外国の政府機関などを含む)およびその職員(元職員を含む)などに対し、法令及び商慣習に反する報酬、接待、贈物を提供することは、その形態を問わず、一切行いません。
- 2 お客様への接待や贈物その他商取引上の儀礼の提供にあたっては、法令遵守はもとより、お客様側で定めている方針を尊重します。
- 3 会社財産と私物との分別を明確にし、会社財産の隠匿・着服等の会社財産を毀損する行為は、一切認めません。

関連 社内規程 7. 就業規則



第2章 誠実で公正な事業活動

- 2-1 法令、社内規程の遵守P.8
- 2-2 高い品質レベルの製品・サービスの提供 ... P.8
- 2-3 リスクマネジメント体制の整備 P.9
- 2-4 適切な情報提供・宣伝広告P.9
- 2-5 適正な契約の徹底 P.10
- 2-6 機密保持の徹底 P.10
- 2-7 知的財産の尊重..... P.11
- 2-8 情報管理の重要性P.11
- 2-9 公正かつ自由な取引 P.12

2

2-1

法令、社内規程の遵守

私たちは、人、企業として守るべき道、企業倫理を常に意識し、業務遂行の全ての場面において法令、社内規程を遵守します。

- 1 事業活動にかかわる法令等に関し、情報を積極的に収集し、遵守することに努めます。
- 2 社内規程の遵守、企業倫理の啓蒙を通し、秩序ある健全な組織を保ちます。業務において不正を強要されたり、不正に気付いたりした場合は、上司に報告するか、内部通報窓口に通報し、速やかに改善されるよう努めます。
- 3 たとえ、「KKEのため」、「お客様のため」、「上司の指示によるもの」などであっても、不正行為は絶対に許しません。

関連

社内規程 7. 就業規則
社内規程 17.2 内部通報者保護規則

2-2

高い品質レベルの製品・サービスの提供

私たちは、あらゆる企業活動において品質を重視し、品質について妥協はしません。

- 1 プロジェクトマネジメントの良否が顧客、業績に与える影響を認識し、受注管理、外注管理、品質管理等の組織的なマネジメントに取り組みます。
- 2 ISO9001の認証を維持するとともに、お客様から信頼される高い品質の製品・サービスの提供を使命とし、品質維持の必要性や重要性を十分認識して各自の業務を遂行します。
- 3 業務を外部に委託する場合においても、適切な選定を行います。本来自己の業務であることを常に認識して、あらかじめチェック項目を明確にするなど、適切に業務を管理し、決して委託先に任せきりにしません。委託の成果品については必ず検取作業を行い、品質に問題の無いことを確認します。

2-3

リスクマネジメント体制の整備

私たちは、平時から事業上のリスク分析を行い、リスクの顕在化、拡大を防止します。緊急事態発生時には、上司に速報し、適切な初動対応、情報管理・広報体制によって良好な企業イメージの維持に努めます。

- 1 各職場において、事業上のリスク分析を行い、重要度の高いリスクを把握したうえで、リスクの顕在化を防止し、または発生したリスク拡大の阻止に努めます。
- 2 緊急事態発生時の連絡ルートを常に確認し、必要な情報が必要な部署に正確かつ迅速に伝わるようにします。緊急事態発生時に、マスコミをはじめ社外からの問い合わせがあった場合には、自ら判断することはいたしません。

関連

社内規程 16. リスクマネジメント規程
社内規程 16.1 リスクマネジメント会議規則

2-4

適切な情報提供・宣伝広告

私たちは、お客様が不利益を被ることが無いよう、製品・サービスの購入判断に資する正確かつ十分な情報を、適切な方法で提供するよう努めます。

- 1 製品・サービスの内容、価格、支払条件などについては、わかりやすく正確で適切な表示や情報提供を行います。
- 2 製品・サービスの広告宣伝においては、誇大な表現や過大な効果を期待させるような表現は厳に慎みます。また、意図的に他社をおとしめるような表現や不正確な表現は行いません。
- 3 KKEまたは第三者の商標・著作物を広告宣伝に使用する場合には、適切な権利処理および権利表示を行います。
- 4 KKEの社名ロゴ*を印刷物や電子媒体に掲載する場合には、広報担当部門が提供するものを使用し、KKEブランドの適正な維持に努めます。

※公式社名ロゴ

 **構造計画研究所**
KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc.

ロゴ 登録番号2202683号平成2年1月30日商標登録
社名 登録番号3007826号平成6年10月31日商標登録

関連

社内規程 8.3 文書規則
社内規程 11. 知的財産規程

2-5

適正な契約の徹底

私たちは、重要な取り決め事項を契約として事前に明確化するとともに、契約内容に従って行動します。

- 1 相手方とのやり取りにおいては、依頼・提案などが法的な拘束力を持つのか否か、交渉開始から契約締結に至るまでの過程で、どの段階におけるやり取りなのかを常に相手先と確認しながら進め、認識の食い違いによるトラブルが生じないようにします。
- 2 取引の開始にあたっては、業務を遂行する過程で想定される事項を踏まえ、契約文書により、重要な取引条件（報酬、納期、業務の内容と責任範囲、権利の帰属など）を確定するようにします。
- 3 契約書の締結にあたっては、事前にしかるべき社内関係者の合意、承認を取り付け、リスクを回避するとともに、不利益の発生を防止します。
- 4 業務の遂行にあたっては、常に相手方と合意した契約内容に従って行動します。契約内容の変更が発生した場合は、その都度変更内容を確認し、重要事項の変更は変更契約書をもって締結するか、文書で確認します。

関連

社内規程 8.1 職務権限・申請規則
社内規程 8.2 印章管理規則
社内規程 8.3 文書規則
社内規程 10. 営業管理規程
社内規程 10.1 営業管理規則

2-6

機密保持の徹底

私たちは、KKEおよび他社の機密情報の重要性を十分認識し、機密情報の保全および適切な取扱いに努めます。

- 1 KKEの機密情報を他社に開示する場合は、機密保持契約を締結し、開示目的に必要な範囲に限り、機密である旨を明示した上で開示します。
- 2 営業段階の提案資料などにKKEの機密情報が含まれる場合は、必ず当該資料に機密保持依頼表示を付記するとともに、相手方に主旨を説明し、KKEに不利益をもたらす危険を防止します。
- 3 KKEの機密情報と同様に、他社の機密情報の価値も重く受け止め、他社の機密情報を第三者から不正に入手することは一切行いません。
- 4 他社から機密情報の開示を受ける際には、機密情報の管理や取扱いについて定めた機密保持契約を締結し、そこに定める条件に従い、厳重に管理し、適切に取扱います。

関連

社内規程 17.4 情報セキュリティ管理規則
社内規程 17.5 ソーシャルメディア利用規則

2-7

知的財産の尊重

私たちは、「知」を業とする者として、知的財産*を尊重し、権利保持、権利侵害に十分に留意して業務を遂行します。

- 1 知的財産の取得とその価値の保持に努め、厳重に管理するとともに、慎重かつ適切に取扱います。
- 2 KKEの権利と同様に、他者の権利を尊重し、第三者の知的財産を不正に使用する行為を行いません。

※ 知的財産:発明(特許権)、考案(実用新案権)、デザインや物の外観(意匠権)、商品名やサービス名(商標権)、プログラムを含む著作物(著作権)、ノウハウ(営業機密)など。

関連

社内規程 11. 知的財産規程
社内規程 11.1 発明等取扱規則
社内規程 17.4 情報セキュリティ管理規則

2-8

情報管理の重要性

情報セキュリティの徹底

私たちは、KKEの情報資産はもとより、お客様やパートナー企業などからお預かりした情報資産を適切に管理取扱います。

- 1 情報セキュリティの重要性を認識します。
- 2 情報資産に対する不正な侵入、漏えい、改ざん、紛失、破壊、利用妨害などが発生しないように適切な措置を講じ、新たな情報危機にも対応できるよう、継続的な改善活動を行います。

個人情報の保護

私たちは、適正に個人情報の収集、利用及び提供を行います。

- 1 個人情報の必要性、重要性について高い意識を持ち、個人情報を適切に管理、取り扱います。
- 2 個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏えいなどの予防並びに是正のため、適切な措置を講じ、継続的な改善活動を行います。

関連

社内規程 17.3 個人情報保護規則
社内規程 17.4 情報セキュリティ管理規則

2-9

公正かつ自由な取引

私たちは、市場における公正かつ自由な競争を尊重します。

- 1 不当な取引制限（談合・カルテル等）または優越的地位の濫用の禁止にあたる行為は行いません。いかに競争が厳しくとも、独占禁止法や関連する法令・ガイドラインで禁止される行為を一切行わず、公正な営業活動の徹底に努めます。
- 2 協力会社や協力スタッフと相互信頼に基づく相互繁栄に努め、KKEが発注元にあたる場合、下請法（発注時の書面の交付、支払遅延の禁止等）の遵守はもとより、優越的な地位を濫用した行為（無理な条件を押し付ける、過度に負担させる等）は厳に慎みます。



第3章 社会との関係

- 3-1 内部統制システムの重要性…………… P.14
- 3-2 情報開示の重要性…………… P.14
- 3-3 お客様との関係…………… P.15
- 3-4 研究開発パートナーとの関係…………… P.15
- 3-5 株主・投資家との関係…………… P.16
- 3-6 地域社会との関係…………… P.16
- 3-7 反社会的勢力への対応…………… P.17
- 3-8 環境保全活動…………… P.17

3

3-1

内部統制システムの重要性

私たちは、KKEが社会的責任を果たすとともに、企業価値の向上に寄与する適正な内部統制*の実現を目指します。

- 1 内部統制とは、業務を適切に進めるためのルールを設け、それに基づいて業務を行っていくプロセスであることを理解します。
- 2 内部統制システムの仕組みのなかで業務に従事していることを認識して適切に行動します。

* 内部統制には、①業務の有効性・効率性、②財務報告の信頼性、③法令等の遵守および④資産の保全という4つの目的があります。そのような目的を達成するために必要な6つの基本的要素(統制環境、リスクの評価と対応、統制活動、情報と伝達、モニタリング、ITへの対応)が整備、運用されていることが必要です。

関連

社内規程 2. 取締役会規程
社内規程 2.1 取締役会規則
社内規程 15. 内部監査規程

3-2

情報開示の重要性

私たちは、上場企業の一員として、情報開示の重要性を認識し、お客様、株主・投資家その他のステークホルダーとの信頼関係の確保に努めます。

- 1 財務内容、経営状況、事業活動等に関する企業情報を適時適切な方法により開示し、透明性の高い、社会から信頼される「開かれた企業」を目指します。
- 2 企業情報を正確かつ判りやすく提供し、会社が正しい評価、理解を得られるように努めます。
- 3 各種申請や起票等の処理を適正に実施し、速やかな報告・伝達に努めるとともに、社内外の監査または検査にも積極的に協力します。KKEに対する評価や要望を謙虚に受け止め、これらを業務に役立てるよう努めます。

関連

社内規程 17.1 インサイダー取引規制規則

3-3

お客様との関係

私たちは、すべてのお客様に誠意をもって公正かつ公平に接するとともに、信頼と期待にお応えするよう努めます。

- 1 お客様との相互信頼に基づく相互繁栄を志向し、対等なパートナーシップ構築による良好な関係づくりに取り組みます。
- 2 お客様がKKEの製品・サービスを選択、購入するにあたり、十分な情報を得られるよう、正確な情報を適切な方法で提供します。
- 3 お客様から安心して業務をお任せいただき、信頼されるパートナーとして、業務の透明性の確保と説明責任の履行に努めます。
- 4 第一級の顧客満足度を獲得し、Win-Winの長期的なビジネス関係を構築するためにも、プロジェクトの終了後も、お客様の声を大切にし、充実したアフターサポートを提供するよう努めます。

3-4

研究開発パートナーとの関係

私たちは、新しいことに挑戦する気概、向学心をもって、技術研鑽、新技術の研究開発に果敢に取り組みます。

- 1 学問を尊敬し、自主研究や大学や研究機関との協働研究、学会活動などを通じて、先進の研究開発に取り組みます。
- 2 お客様企業や国内外のビジネスパートナーと協調し、常に先進的な製品・サービスを社会に提供します。

3-5

株主・投資家との関係

私たちは、上場企業の一員であることを認識し、株主や投資家の期待に応えるべく努めます。

- 1 グローバルな事業展開や長期安定的な成長を通じ企業価値の向上を目指します。
- 2 インベスター・リレーションズ(IR)を重視し、適時かつ適正なIR活動を通じて、企業経営、事業活動への理解促進に努めます。
- 3 経営の透明性を向上させ、社外の目を通じた経営チェックを積極的に取り入れます。

3-6

地域社会との関係

私たちは、良き企業市民としての役割を自覚し、地域社会との調和と共栄をはかります。

- 1 地域社会の文化、慣習などを尊重します。また、地域社会との連携と協調をはかり、良好な関係を維持することにより、地域社会の一員としての責任を果たします。
- 2 地域社会と協力しながら防災活動に取り組み、災害時には社会復興に貢献します。
- 3 地域社会から寄せられたご意見、苦情などは真摯に受け止め、適切な対応を行います。

3-7

反社会的勢力への対応

私たちは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力に対しては、毅然とした態度で対応します。

- 1 反社会的勢力とは、取引を含めて一切の関係を遮断することとし、万が一、その関係が事後的に判明した場合には、直ちに契約解除等必要な措置を講じます。
- 2 反社会的勢力による不当な要求に対して、どのような名目であっても、経済的利益、便益、特典、恩恵などを提供せず、民事と刑事の両面から法的対応を行います。
- 3 反社会的勢力との裏取引及び資金提供等の不適正な取引は一切行いません。
- 4 問題発生時には直ちに上司、総務担当部門、必要に応じて警察と連絡をとり、組織的に対応し、決して担当者個人が問題を抱え込まないようにします。

関連 社内規程 16.2 反社会的勢力対策規則

3-8

環境保全活動

私たちは、企業活動を通じて地球資源の効率化や有効性を高めるとともに、組織的な環境負荷低減に努めます。

- 1 KKEの製品・サービスが顧客の経済活動の効率化を進め、地球資源利用の効率化や有効性を高めることにつながるよう、積極的な提案を通じて人や環境にやさしい業務活動を目指します。
- 2 企業活動にかかわる資源利用を見直して無駄遣いをなくすとともに、人や物の移動を効率化して環境負荷の低減や汚染の防止に努めます。
- 3 環境保全に関するあらゆる法規制及び事業所が存在する地区における法的要求事項を遵守します。